

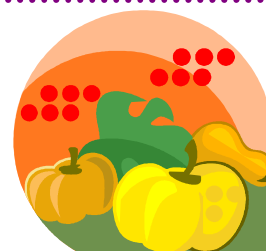


平成26年11月4日(火)発行 【隔月(年6回)発行】
発行部署 : ソリューション営業本部ソリューション営業部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4600
発行責任者 : 白土 雄二郎
お問合せ窓口 : 芝 啓彦

第114号

[目次]

1. 小集団活動全社発表会
2. 第3回KAITEKI塾 開催
3. 女性トラックドライバー支援について
4. 国際物流総合展2014 参加レポート
5. 場所紹介 ~鹿島支社成田営業所(香取市)の巻~
6. LIFEによる物流改善提案のご紹介 ~在庫に関する改善編~



1. 小集団活動全社発表会

9月17日に、当社の四日市支社において小集団活動全社大会を開催しました。1982年度よりスタートした本活動も今回で30回目を迎え、全社123グループ(国内94・海外29)の中から各支社・営業部で選ばれた7グループと、当社の海外現地法人の一つである中国の寧波菱信物流社のグループを加えた8グループで発表会を行いました。

発表テーマは、①黒崎支社:液化炭酸ガス充填作業円滑立上げ、②鹿島支社:外航代理店業務見直しによる効率化、③水島支社:過積載防止の取り組み、④坂出支社:ベルトコンベアローラー管理方法改善、⑤西日本エリア営業部:配車業務の統合、⑥川崎油槽所:メタクリル酸タンク運用管理改善(現場力向上)、⑦四日市支社:棚卸し作業の改善、⑧寧波菱信物流(中国):PTMG輸送用

ISOタンクコンテナの気密性向上、と多岐にわたる内容で、質疑応答を交えながら活発な議論が行われました。

各グループいずれ劣らぬ興味深い内容でしたが、当日3グループ(坂出支社、四日市支社、水島支社)を優秀グループとして選出しました。その中から坂出支社物流センター生産物流1課の「てるやまもみじ」を、11月に水島で予定されている「第14回三菱化学グループ小集団活動発表会」の当社代表に決定しました。



石川社長(前列中央)を囲んで

2. 第3回KAITEKI塾 開催

8月27日、当社(本社)にて第3回「KAITEKI塾」を開催しました。本塾は当社の経営理念である“三菱化学物流は、信頼されるソリューションプロバイダーとして、価値あるロジスティクスを創造し(KAITEKI物流)、お客様と社会の発展に貢献します。”の実現、すなわちKAITEKI物流の実現を目指し、個々人のスキルアップ等を図ると共に情報・価値観を共有し、想いの共有を深めることを目的としております。

今回は日本ロジスティクス協会の北條 英様を講師にお招きし「KAITEKIなロジスティクスとは」をテーマにご講演をいただきました。

講演内容は物流、ロジスティクス、サプライチェーンマネジメントの定義といった基礎的な部分に始まり、所属されている日本ロジスティクス協会様の豊富なデータに基づくマクロならびにミクロの視点からの物流コストの状況、そして定量化・可視化された物流環境に関するデータを基に多くの事例をご紹介いただきながらグリーン物流についてご講演をいただきました。

当講演を通じグリーン物流に対する意義や社会の風潮を改めて知ることにより、今後お客様にコスト面だけでなく環境面を踏まえKAITEKI物流の提供を心掛けたいと思います。



3. 女性トラックドライバー支援について

今日、トラックドライバー不足が新聞などマスコミで取り上げられ社会問題となっています。この問題の背景には、低賃金で長時間労働を実施したり、交通事故の危険性がある厳しい労働環境であったりとトラックドライバーのイメージが決して良くはないことなど様々な要因が指摘されています。

また、トラックドライバーは中高年層の男性ドライバーに依存した状態であり、将来的に更に深刻な労働力不足に陥る懸念があります。

この問題を解決すべく、国土交通省が自動車局のホームページ内に女性トラックドライバーを支援する「トラガール促進プロジェクトサイト」を開設しました。サイト内では全国各地の女性トラックドライバー(通称=トラガール)の活躍紹介に加え、トラガールになるための方法、現役トラガールへのインタビューなどを盛り込んでいます。

トラックドライバー不足が社会問題となる中で、女性に活躍いただくため、サイトを通じて女性トラックドライバーに対する理解を深めてもらい、希望者を確保するのが目的です。

また、「トラガール促進プロジェクト」では、トラガールの活躍を社会に広く発信することで、トラガールを目指す女性の道しるべとなるとともに、経営者や荷主に新しい視点を提供し、業界のイメージ改革を図ります。

「トラガール促進プロジェクト」により女性トラックドライバーの確保ができ、更にはイメージ向上によりトラックドライバー全体の雇用確保に繋がり安定した運用ができることを期待します。



4. 国際物流総合展2014 参加レポート

2014年9月9日～12日の4日間、東京ビックサイトでアジア最大級の規模を誇る物流分野の展示会「国際物流総合展2014」が開催されました。1994年以降、2年に1度開かれており、11度目の開催となりました。今回は「ロジスティクスで経営革新 ～解決のレシピを探せ～」というテーマのもと、最新の物流システム機器や情報システム、サービス等、各種ハード・ソフトが集結するとともに、国内外のロジスティクス関係者が一堂に会し、活発な技術交流、ビジネス交流が行われ、様々な課題解決や業務改革の方策を得ることができる場として、商談をしている光景も散見できました。

また今回は、3種類の集中展示コーナーが開設されていました。一つは、「安全で環境にやさしいトラック輸送」、そして「拠点進出ソリューション」、「環境にやさしい包装システム」が実施され、拠点進出ソリューションにおいては、各自治体の関係者による地域の紹介や企業誘致をされているところも多かったように感じました。

ある企業の出店者セミナーに参加しました。その際、企業側の予想を超える参加者となり、商品紹介パンフレットが足りなくなるハプニングに遭遇しました。多くの人が興味を持っているテーマであった事がうかがえました。

展示会に参加することで、市場動向や新しい商品等、様々な情報収集や、ノウハウの蓄積が出来ます。一見無関係に見えるものでも、今後何らかの機会に役立つ可能性がありますので、今後も積極的に展示会やセミナーに参加していきます。そして、お客様の要望に沿うような効率化の提案ができるように取り組んでいきたいと思えます。



5. 場所紹介 ～鹿島支社成田営業所(香取市)の巻～

成田営業所は、千葉県中央部に位置し、A社成田工場内に当社子会社含め、31名で場内、倉庫、輸出入並びに一般荷主を含めた輸送業務を行っています。

さて当営業所周辺には、成田国際空港、成田山新勝寺があります。成田国際空港は日本の空の玄関口として有名ですが、海外への渡航で利用する以外にも空港内並びにその周辺施設は休日になると、ショッピングする人や家族・グループで飛行機を見物する人などで大変な賑わいがあります。成田山新勝寺は、お正月の初詣の人出が全国的にも指折りですが、2月の節分の時も大相撲の力士、芸能人などが豆まきに訪れるなど、例祭などが数多く催され、一年を通して訪れる人が多いところでもあります。また特産品としては、多古米(コシヒカリ)があり、江戸時代は、幕府献上米として献上されたり、天皇陛下献上米として選ばれている銘柄であります。おいしさの秘訣は、寒暖の差が大きく、山に囲まれ肥沃な土地、水に恵まれ昔ながらの田んぼで収穫することで、当社にも多古米を作っている社員がおり、炊き上がったお米の艶、特にねばりがあり、甘くて美味しいと評判です。全国的に流通量は少ないようですが、成田周辺にお出かけの際は是非食してみたいはいかがでしょうか。

【成田国際空港】



【成田山新勝寺(節分)】



【多古米】



6. LIFEによる物流改善提案のご紹介 ～在庫に関する改善編～

当社ソリューション営業部(LIFEグループ)の物流改善提案について、110号(2014.3.3発行)からシリーズでご紹介していますが、今回は『在庫』というテーマでお届けしたいと思います。

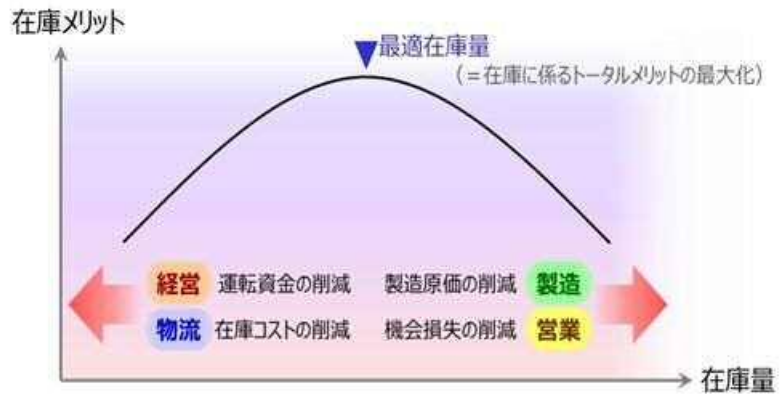
在庫に関しては業種を問わず半ば普遍的なテーマでもあり、古くから多数の書籍類が市販・公開されています。これらの中には『これだけで在庫は〇〇%削減できる!』等、刺激的な見出しを掲げたものも少なくありません。ところで、在庫は常に削減すべき対象なのでしょうか? また、少なければ少ないほど良いもののでしょうか? この問いに対する答えは立場によって異なるのが実情です。(右図参照)

在庫管理のポイントは『有効な在庫を必要量だけ準備しておく』ことです。従って一律に在庫削減を掲げるのではなく、4者の目線で在庫によるメリットを最大化することが重要です。

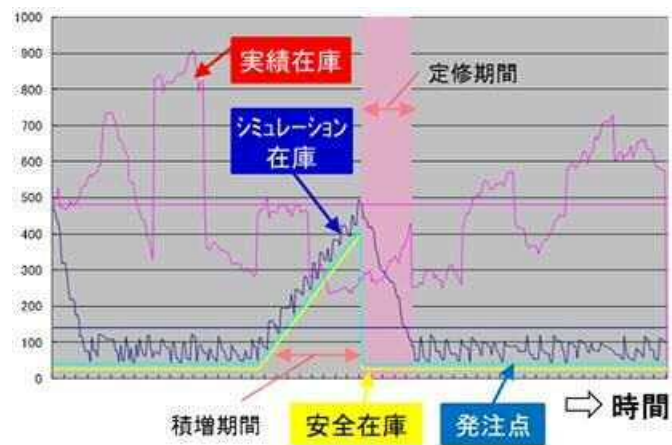
当社ではABC分析(重点管理)を始めとした基本的な在庫解析から、シミュレーションソフトを活用した高度な管理指標提供まで、幅広い在庫最適化サービスを実施しています。シミュレーション解析を例に挙げると、発注点や安全在庫などの一般的指標はもとより、定修期間(製造設備の停止期間)を加味した複雑な解析等、お客様の実態に則した改善策のご提案が可能です。

当社ではこれらの手法を駆使し、お客様にマッチした『在庫最適化』実現に向けてサポートを行っています。

在庫に関する4者(製造・営業・経営・物流)の目線と最適在庫



在庫シミュレーション事例



芝のそよ風

ソリューション営業部 工藤 さつき

私が入社した十数年前、化学品の物流現場で女性トラックドライバーを目にすることは今よりもずっと少なく、私が働く倉庫に女性ドライバーがやって来るとちょっとした騒ぎ(?)になっていました。ある時は、他にも仕事があるのに、倉庫のフォークリフト作業者が我先にと女性ドライバーの納品を手伝っていたり…、しまいには何故か他社のドライバーまでも手伝っていたり…。何とも微笑ましい(?) 光景でした。

トラックの助手席に座り、ドライバーの仕事を見学した事がありました。納品先で一番困ったのはドライバー用トイレが男性用しかなかった時です。でも、そんな時も周りの男性ドライバーの皆さん(見ず知らずの方も含め)が、すかさず声をかけてくれ、一緒になって探してくれて助かった…。『トラガール』の記事を読んで、そんなことも思い出しました。